



用語の解説

あ行	
アカウント	インターネット上のサービスを利用するための権利。
アーカイブ	安全にデータを保存すること。
インターフェース	コンピューターと周辺機器を接続する時の接合面。
HDMI	High-Definition Multimedia Interfaceの略で、映像・音声・制御信号を1本のケーブルにまとめて送ることができる通信規格。
FPS	frames per secondの略で、1秒間の動画が何枚の画像で構成されているかを示すの単位。FPS60は1秒間に60枚の画像を使用していることになる。値が大きいと滑らかな動きで小さいとカクカクした動きになる。
XLRコネクター	アメリカのキャノン社が開発したXLR型の音響機器の接続に用いられるコネクター（オーディオコネクター）の種類。開発した会社名からキャノンコネクターとも言う。
エンコーダ	動画を視聴者にライブ配信できるようにデジタル化するデバイスやアプリケーションのこと。
OS	Operating Systemの略で、パソコンを操作するための土台となるシステム全体を管理する基本ソフトウェア。
オーディオインターフェイス	マイクや楽器などのアナログ音声信号を、パソコンで使えるデジタル信号に変換するための機器。（逆も可能）
オンデマンド	「要求に応じて」という意味があり、利用者があらかじめ準備をしなくても必要なときに必要な機能が実行される状態をいう。YouTubeの場合、視聴者の要求に応じて動画を配信する形式のこと。
か行	
解像度	画像の密度。単位はdpiでdpiはdots per inchの略で、1インチにどれだけドット（点）が含まれているかを表す。解像度が高くなると、同じ面積でもドットの数が多いということなのでそれだけ精密な部分まで表現された滑らかな画像ということになる。

キーフレーム間隔	動画の始点と終点を指定した時のその間隔。キーフレーム=動画に挟んだしおりとすると、そのしおりとしおりの間隔。OBSの場合、「0（自動）」にすると、250フレームごとにキーフレームが設定されるのでFPS30（1秒で30フレーム）の場合、キーフレーム間隔は8.33秒となる。
クロスフェード	2つの映像または音をつなげたり切り替えたりするとき、最初の映像等をフェードアウト（徐々に消えていく）し、同時に次の映像等をフェードイン（徐々に現れる）させ、2つが重なりつつ徐々に切り替わること。
コネクター	コンピューターやその他のデジタル機器で、機器同士やケーブルを接続するための部品を指す。端子、ポートなどとも呼ばれる。
さ行	
サムネイル	画像ファイルの見本用画像のこと。英語で親指（サム thumb）の爪（ネイル nail）を意味し、一つの画像が親指の爪のように小さいことから、そう呼ばれている。
スイッチャー	接続された複数のカメラなどの映像を、ワンタッチで切り替える為の装置
ストリームキー	配信ソフトを利用して配信する際、YouTubeと配信ソフトを紐付けるパスワードのようなもの。
ソース	データやファイルなどを転送、変換、複製などする際に、元となる側。情報源。出典。
た行	
DVR	Digital Video Recorderの略。画像・音声のデジタルデータを記録したり再生したりする装置の総称。
デバイス	機器。装置。端末。
電源タップ	電源プラグに複数のコンセントがついていて、一つのコンセントから複数の機器に給電できる器具のこと。OAタップ、テーブルタップとも言う。
は行	
ハイフレックス	Hybrid-Flexibleの略で、対面で行われている研修を、オンラインでも同時に配信し、録画したものは後から見ることもできる形態。

ビットレート	1秒間に出力する動画の容量（データ転送レート）で、単位はKbps（kilobit per secondの略）。配信の場合、解像度やFPSに呼応する。
フォンプラグ フォーンジャック	音響機器の接続に用いられるコネクタ（オーディオコネクタ）の種類で、オス型をフォンプラグ、メス型をフォーンジャックという。電話交換機に使われたことからこう呼ばれている。
プラットフォーム	機器やソフトウェアを動作させるのに必要な、基盤となる装置やソフトウェア、サービス、あるいはそれらの組み合わせ（動作環境）のこと
プリセット	前もってセットをすること。予め用意しておくこと。
ま行	
ミキサー	入力された複数の音声を適切なバランスにまとめ、聞く人にとって聞きやすい音質に調整する機材
モバイルルーター	インターネットに接続するために使う小型で軽量の通信端末。
や行	
USB	Universal Serial Busの略。パソコンに周辺機器を接続するための規格のひとつ。Type-A、Type-B、Type-C、mini、microなど、様々なコネクタの形状がある。
ら行	
レート制御	<p>ビットレートの制御方法で、CBRやVBRやCQPなどがある。</p> <p>CBR：固定ビットレート。設定したビットレート固定で動画を出力し続ける。</p> <p>VBR：可変ビットレート。動きが激しくビットレートが多く必要な時はビットレートを多く割り当て、動きが少なくビットレートがあまり必要ないときにはビットレートを少なく割り当てながら動画を出力する。</p> <p>CQP：固定量子化量。これくらいの品質と最初に決めた品質で動画が出力する。</p>

あしがき

今回、WEB配信で実施した令和3年度（2021年度）の秋季研究会で学んだ、オンライン研修の基本的なことをまとめてみました。色々失敗もしましたが、失敗したからこそ学ぶことができた部分もたくさんあると思います。

昨年度から、感染症対策等教育活動継続支援事業等で、学校のICT化が加速度をつけて進みました。各学校で配信用の機器も充実してきているのではないのでしょうか。使用する機器によって必要なケーブル類が異なったり、使用するソフト、プラットフォームによって設定なども異なります。事務職員だから、と消極的にならず、実際にどんどん触ってみて経験値を上げていくことが必要だと思いました。



令和3年度 熊本県公立学校事務職員協会 研修部

副会長 染矢 由圭

理事 永田 唯

代議員 大村 理砂

代議員 川崎 尋史

代議員 藤本 清太